



# みどりの里

宇奈月小学校だより

第3号

平成30年6月8日

目指す子供像 うんとかんがえる子 なかよくする子 つよいからだの子 きれいなところの子

黒部市立宇奈月小学校 〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山205番地1  
TEL(0765)65-2288 FAX(0765)65-2800

URL <http://www.tym.ed.jp/sc13/>  
E-mail [unazuki-es@tym.ed.jp](mailto:unazuki-es@tym.ed.jp)

## 挨拶の輪を広げて

校長 四杉 昭康

小学校学習指導要領の一部改正（平成27年3月）及び全面改訂（平成29年3月）を経て、これまでの「道徳」が、「特別の教科 道徳（道徳科）」となり、小学校では今年度より（中学校は平成31年度より）全面実施となっています。これまで道徳の時間には副読本を使用していましたが、今年度からは国の検定に合格した教科書を用いて、すべての学年で道徳科を計画的・発展的に進めているところです。

年度当初に、本校の子供たちに身に付けさせたい道徳性について話し合ったとき、教職員が最も重視したのは、「礼儀（挨拶）の大切さ」でした。そこで本校では、重点とする内容項目に「礼儀」を位置付けることとし、その指導時間を増やしたり、他と関連させたりするなどして、教育活動全体を通じて重点的に指導を行うことにし、取組を進めています。「礼儀」とは、挨拶や言葉遣い等を通して、相手の人格を尊重し、よい人間関係を築くための生き方の基本です。道徳科の授業では、子供たちが、礼儀を自分自身の問題として受け止め、主体的に考え話し合うようにすることが大切になります。

5年教室で、少し話をする機会があったので、5年生に「皆さんは、毎日挨拶しているかな。去年の6年生の〇〇さんは、毎朝近所のおばあさんに挨拶したり声をかけたりしていたそうです。そのおばあさんは、挨拶したり優しく声をかけたりしてもらったことがとても嬉しかったそうです。〇〇さんが、そのおばあさんに毎朝声をかけたり挨拶したりしたのは、どんな気持ちからだと思うかな」と尋ねてみました。すると、子供たちからは次々に反応が返ってきました。「おばあちゃんと仲よくなりました良かったかな」「おばあちゃんを嬉しい気持ちにさせようと思って」「挨拶すると自分も気持ちよくなる」「自分も相手も気持ちよく笑顔になる」「前に、挨拶を返してもらって嬉しかったことがあった」「安全パトロール隊の方が、挨拶だけでなく、『安全に気を付けてね』と毎日言うてくださるので、自分のことを大切にしてもらっているようでとても嬉しい」などと、5年生は、自分の経験と重ね合わせて、挨拶の意味を真剣に考えていました。

今年度、本校児童会が、「あいさつタスキリレー」の取組を行っています。これまでの挨拶運動をさらに推進し、低学年も目当てをもって活動に参加できるように、タスキや目当てカードを作成し、挨拶の輪を広げることがねらいです。先に学校に来た高学年に混じって1年生が上学年に「おはようございます」と挨拶する姿が見られ、とても微笑ましく思います。中には、照れくさそうに通り返さずとしようとする子供もいますが、挨拶は人を元気にしてくれるのは間違いありません。

ある民間会社のデータによると、企業が採用したい人物像のトップは「時と場に合った挨拶ができる人」だそうです。挨拶は人間関係づくりの基本です。挨拶が響き合う学校、それがひいては互いに尊重し合う心を育むことにつながります。家庭や地域でも挨拶の推進にご協力をお願いいたします。





# 頑張る5年生の活動から

## 緑を守り育てる意識を高めて……5年花とみどりの少年団結成式

5月10日（木）、青少年育成市民会議下立支部の森下さんをお招きして、5年生が今年度の「花とみどりの少年団」結成式を行いました。

講師の森下さんからは環境や森林のはたらきについての話を聞きました。5年生は、地球温暖化の影響や植物の光合成の仕組み、森林の働き等、人間と自然の関わり方について、様々な面から学びました。また、日本の地形や県内の川や気候の特徴、地震の状況等、郷土の地理的な特色についても学び、理解を深めました。

今後の活動として、イワナの放流体験やキノコの植菌体験等の活動があります。花とみどりの少年団活動の趣旨である『緑に親しみ』『緑を愛し』『緑を守り育てる』活動を通して、ふるさとを愛し、人を愛する心豊かな健康的で明るい人に育つこと」を心から願っています。



環境問題についての話



熱心にメモをとる5年生



活動への意識を高めた結成式

## 大きく育てね！……5年イワナの放流体験

5月15日（火）、青少年育成市民会議下立支部の皆さんにお世話いただき、5年生が舟子川の上流域でイワナの放流体験をしました。初めはおそろおそろイワナに触っていた子供たちも、徐々に慣れた手つきで放流していました。放流したのはイワナの幼魚（約15cm）で、自然への思いを深めました。



「イワナは冷たい水の中で育ち……」



「大きくなってね」



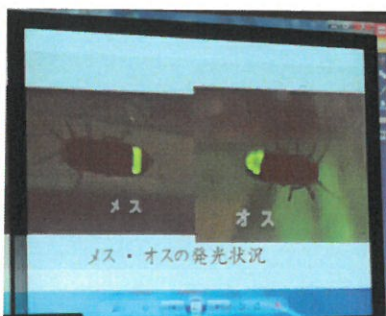
イワナの幼魚（約15cm）

## ホタルが舞うビオトープに！……5年ホタルについての学習会

5月25日（金）、里山ホタルの会の岡田さんと中さんにご来校いただき、5年生がホタルの生育について学びました。ホタルの飼育活動に向けて、知識を増やし関心を高めました。ビオトープに多くのホタルが舞うのを楽しみにしたいと思います。



里山ホタルの会の皆さんからの話



オスとメスの光り方の違い



ホタルの幼虫の観察



## 記録を目指して競い合った！・・・黒部市小学校連合体育大会より

5月22日（火）、延期となっていた第13回黒部市小学校連合体育大会が宮野運動公園陸上競技場で開催されました。絶好のコンディションの中、本校の5・6年生90名は、各種目の競技に熱心に取り組み、輝かしい成果を収めました。保護者の皆様には、子供たちへの励まし等、ご協力をいただき誠にありがとうございました。また、児童席テントの設営・片付けにご協力をいただいた保護者の皆様をはじめ、応援に来てくださった多くの皆様に、心より感謝申し上げます。

### うなっ子パワー全開！ 市小学校連合体育大会

体育主任 館野 遥香

子供たちは、1か月前から朝、業間、そして放課後練習に励みました。撮影したビデオを見て、自分のフォームを確かめながら、日々目当てをもって練習に参加しており、スタートラインに立った真剣な眼差しに子供たちの思いが表れていました。

今年の連合体育大会では、「うなっ子らしさ」を一人一人が考え、一致団結して臨みました。どの子も練習の成果が出るように一生懸命走る姿や、応援リーダーが中心となりテントで仲間へのエールを送る姿がとても印象的でした。

中距離走で入賞したMさんは、最後150mほどになったときに、宇奈月小の代表として一緒に走ったHさんから「Mさんなら、いけるよ！」と心を通じ合わせたことがきっかけで、最後の追い上げをすることができたそうです。また、走り高跳びでは、失敗して先にテントに帰ってきた選手のYさんは、挑戦を続けるもう一人の選手の気持ちを考えて、「バーを落としても“あー”と言わないでおう！」と、みんなに声をかけていました。

今大会で、宇奈月小学校はメダル12、入賞29という素晴らしい成績を残すことができました。頑張った本人たちはもちろん、その選手たちを奮起させた仲間の存在があったからこそその成績だと思えます。子供たちにとって、この経験を今後の学校生活に生かして行ってほしいです。そして、子供たちが十分に力を出せたのも、テントの設営や片付けにご協力してくださった保護者の皆様のおかげでもあります。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



走り高跳び



50mハードル走



400mリレー



熱の入った応援



5年リレー優勝



小学校最後の連合体育大会の思い出(6年)



## 交通事故0(ゼロ)を目指して・・・交通安全教室、自転車安全運転教室より

5月30日(水)、3年生以上を対象に、交通安全教室を実施しました。この日は、宇奈月駐在所の長井さん、東山駐在所の笠島さん、愛本駐在所の中沖さん、市交通安全協会の山田さんの4名をお迎えして指導していただきました。交通安全に関わる運動や取組についての話やDVD視聴を通して、理解を深めました。DVDの視聴では、自転車乗車中にスマホを見たり、友達と話に夢中になったりして前方の確認がおろそかになり、歩行者に大きな怪我を負わせてしまうなどの内容に、子供たちはとても驚いていました。乗車中の自分自身が加害者になる可能性があることを忘れないようにしたいものです。

3年生は、その後グラウンドで自転車安全運転教室に参加しました。交差点や曲がり角、踏切等のコースに合わせて正しい自転車の運転の仕方や安全確認の方法についての実技指導を受け、自転車乗車の基本を学びました。3年生は、この約1か月の間、自転車運転技術がとても向上しましたが、今後は実際の道路へ出るようになります。家で約束した道路を安全に乗車し、くれぐれも事故等を起こしたり、事故に巻き込まれたりしないように気を付けてほしいと願っています。



安全な自転車の乗車の仕方



「とやま自転車5ハット」を忘れずに



自転車安全運転教室(3年生)

## その他の学校生活から



4年 社会「消防署の見学」



5年 社会「田植え体験」



1・6年 学級「サツマイモ苗植え」



2年 生活「野さいをそだてよう」